



俺はこのハンドルで空気弁の  
開き具合を調節するぜ。  
邪魔しないように  
ペレーは漫画の  
ネタでも考えてる。

了解。  
了解。

ピンピン頭はこの窓から  
見える炎の色を教えてください。



どうしたの都工瑠ちゃん？  
ボイラー室に呼んだりして。

あいびき？

ちげーよ、ペレー。

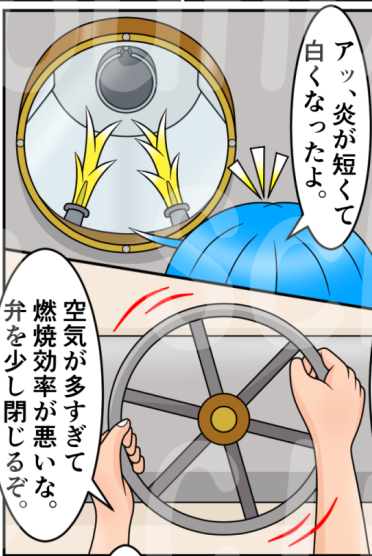
俺は「**2級ボイラー技士**」だろ。  
薛園先生にボイラーの調節を  
頼まれてね。少し手伝ってよ。

保有資格シリーズ(10)  
**2級ボイラー技士**



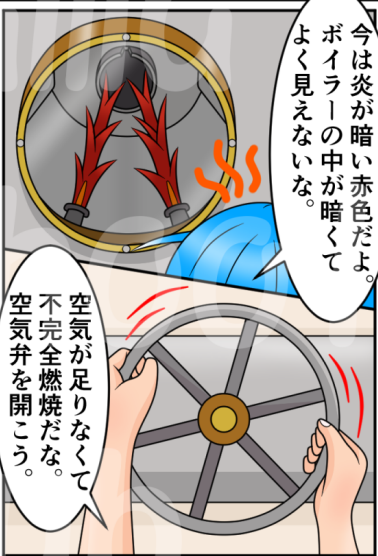
炎が橙色になって  
中がよく見えるよ。

よっし！ 空気が適量で  
燃焼効率がいい状態だ。



アッ、炎が短くて  
白くなったよ。

空気が多すぎて  
燃焼効率が悪いな。  
弁を少し閉じるぞ。



今は炎が暗い赤色だよ。  
ボイラーの中が暗くて  
よく見えないな。

空気が足りなくて  
不完全燃焼だな。  
空気弁を開こう。



次の資格に  
続く……

ウエヒヒ

妄想の弁は完全に  
閉じなさいよ。

……とかやってよ。  
ネタにするからさ。

妄想がひどすぎて  
ペレーの瞳の炎が  
短くて白いぞ。



だ、だめだよ。ボイラー室で  
壁ドンとか顎クイなんて。  
私の心も完全  
燃焼しちゃう♥

ドンッ！！  
クイッ！！

さてと、今度は俺らの関係の  
不完全燃焼を終わらせようぜ★

むふふ……

©2022 Shouhama High School IP Club / Nakagawa Kiyomune  
この話はアクションです。実在の人物・団体・出来事などとは一切関係ありません。  
ご覧いただくのに支障がないレベルの透かしが入っています。どうぞご了承ください。